

「用途について」

（協議資料）

平成30年4月24日
別府のみらい検討会議事務局

「**用途について**」

- 入湯税の引上げ部分の用途として適切と考える大きな柱の設定する
- 用途として適切ではない事業の抽出する

「**公民一体の新しい組織のあり方**」

- 用途を協議する新しい組織のフレームを設定する
目的、構成メンバー、人数、任期、役割について協議する

* 予定では3回の検討会議で協議を行い、協議結果を市長へ提言します

●温泉資源の保護、確保

【別府のみらい検討会議】

- ・温泉の可能性の研究（健康・エネルギー等）

【行政として考えられる用途】

- ・泉源の保護（現状把握）
- ・一斉調査の実施及び調査結果の分析
- ・温泉掘削等の地域規制の見直しと必要となる調査研究
- ・エネルギーとして未利用熱源等の利活用
- ・高温の温泉排水のエネルギーの有効活用
- ・観光客を受け入れている共同温泉の支援策

●観光客の快適性確保（ストレスフリー）

【別府のみらい検討会議】

- ・ 旅館ホテルへの同時翻訳機の導入
- ・ 案内表記の多言語化
- ・ 多言語対応のパンフレット
- ・ 外国人案内所の充実（スタッフ増員、開設時間延長）
- ・ 外国人客の声をフィードバック出来る仕組み作り
- ・ 外国人向け入国前の情報発信
- ・ 留学生からの情報発信
- ・ 海外の富裕層への対応

●観光客の安全・安心の確保

【別府のみらい検討会議】

- ・ユニバーサルルームの整備
- ・バリアフリーへの先行投資
- ・自然災害による風評被害を防ぐ情報発信

○観光客を増加させるための事業推進 (魅力あふれる温泉地づくり)

【別府のみらい検討会議】

- ・ 広域連携（別府湯布院温泉郷、国立公園）
- ・ 共同温泉、温泉道、温泉科学等の文化面の施策
- ・ 駅前にシンボルの象徴
- ・ 駅の商店街活性化
- ・ 歩いて楽しめる場所作り

【行政として考えられる用途】

- ・ 体験型アクティビティ商品造成、拠点整備、蒸し料理

○観光客の受入態勢の充実

【別府のみらい検討会議】

- ・働き方改革による雇用対策、人材確保
- ・留学生の雇用条件の向上（勤務時間数、就労ビザ）
- ・研修事業（コミュニケーション力、語学力）
- ・経営者の経営力向上
- ・個人旅行者の地域密着型観光

【行政として考えられる使途】

- ・お客様の多様な身体状況や旅行に対する希望と、観光地や観光施設をつなぐ窓口設置

入湯税の使途としてふさわしくない事業の抽出

- ・ お客様が参加しにくい単発型イベント
- ・ 特定の事業者の売上げが増加するようなキャンペーン
- ・ 成果が特定できない事業